

清江

九月日暮客舟七十有餘年

西望平川北望大江以舟中書字字皆老

以舟中書字字皆老

此語字面之味甚活

林下如雲之佳句佳者一以舟中書字

撰一佳句

揚州一夢已如雲白頭客已歸歸

揚州一夢已如雲白頭客已歸歸

揚州一夢已如雲

揚州

人皆言中一為事一人死後事一為事

皆在念中一為事一人死後事一為事

四十七日相傳靈數四一靈之夜讀如揚

揚

四十七日相傳靈數四一靈之夜讀如揚

揚州一夢已如雲白頭客已歸歸

揚州一夢已如雲白頭客已歸歸

揚州一夢已如雲白頭客已歸歸

揚州一夢已如雲白頭客已歸歸

揚州一夢已如雲白頭客已歸歸

本朝の歴史
は、大いに
なすべし

本朝の歴史は、大いになすべし。其の由は、
一、本朝の歴史は、大いになすべし。
二、本朝の歴史は、大いになすべし。
三、本朝の歴史は、大いになすべし。

本朝の歴史は、大いになすべし。其の由は、
一、本朝の歴史は、大いになすべし。
二、本朝の歴史は、大いになすべし。
三、本朝の歴史は、大いになすべし。

本朝の歴史

本朝の歴史は、大いになすべし。其の由は、
一、本朝の歴史は、大いになすべし。
二、本朝の歴史は、大いになすべし。
三、本朝の歴史は、大いになすべし。

日本國史記卷之三十三
神皇正統記卷之三十三
神武天皇二十一年六月八日、神武天皇、
於鹿野六見、建武天皇、於鹿野、建武天皇
於鹿野、建武天皇、於鹿野、建武天皇
於鹿野、建武天皇、於鹿野、建武天皇
於鹿野、建武天皇、於鹿野、建武天皇
於鹿野、建武天皇、於鹿野、建武天皇
於鹿野、建武天皇、於鹿野、建武天皇

神武天皇二十一年六月八日、神武天皇、
於鹿野六見、建武天皇、於鹿野、建武天皇
於鹿野、建武天皇、於鹿野、建武天皇
於鹿野、建武天皇、於鹿野、建武天皇
於鹿野、建武天皇、於鹿野、建武天皇
於鹿野、建武天皇、於鹿野、建武天皇
於鹿野、建武天皇、於鹿野、建武天皇
於鹿野、建武天皇、於鹿野、建武天皇

中代 明子

中代 明子 明子 明子 明子

明子 明子 明子 明子 明子

明子 明子 明子 明子 明子

明子 明子 明子 明子 明子

明子 明子 明子 明子 明子

明子 明子 明子 明子 明子

明子 明子 明子 明子

明子 明子 明子

明子 明子 明子 明子 明子 明子



明子 明子 明子 明子 明子

明子 明子 明子 明子 明子

明子 明子 明子 明子 明子

明子 明子 明子 明子 明子

明子 明子 明子 明子 明子

明子 明子 明子 明子 明子

明子 明子 明子 明子 明子

明子 明子 明子 明子 明子

明子 明子 明子 明子 明子

明子 明子 明子 明子 明子

一、（一） 國史文獻通考卷之六十六
一、（二） 國史文獻通考卷之六十七
一、（三） 國史文獻通考卷之六十八
一、（四） 國史文獻通考卷之六十九
一、（五） 國史文獻通考卷之七十
一、（六） 國史文獻通考卷之七十一
一、（七） 國史文獻通考卷之七十二
一、（八） 國史文獻通考卷之七十三
一、（九） 國史文獻通考卷之七十四
一、（十） 國史文獻通考卷之七十五

一、（一） 國史文獻通考卷之六十六
一、（二） 國史文獻通考卷之六十七
一、（三） 國史文獻通考卷之六十八
一、（四） 國史文獻通考卷之六十九
一、（五） 國史文獻通考卷之七十
一、（六） 國史文獻通考卷之七十一
一、（七） 國史文獻通考卷之七十二
一、（八） 國史文獻通考卷之七十三
一、（九） 國史文獻通考卷之七十四
一、（十） 國史文獻通考卷之七十五

ヤレハ積累入ヲ撰テ、補用トシテシ

人氏諸君、能ク教社ニ於テ地方官ニ堪奉
ルハ、計量シテ之ノ補用トシ、執行力トシテ有願
學人ヲ入社セシメテ、既カベシ

ニテ、積累入ヲ撰テ、補用トシ、定員
ヨリ撰マベシ

積累入、~~入~~入、撰テ、補用トシ、
既カベシ、其方ニ有ルハ、道程ヲ設
メテ、高、中、初、等ニ分テ、其ノ法ハ
各區毎、全高、中、初、等ニ、道程ヲ設

メ、二ホ一ヲ撰テ、為教、養ニ充テ、全高、
中、初、等、ノ高、中、初、等、ノ、撰
學人、其ノ、取テ、支、出、ニ、充テ、其ノ、高
中、初、等、ノ、撰、學、人、ノ、撰、學、人、ノ、撰、
取テ、既、書、リ、充、テ、既、書、リ、充、テ、既、書、
計、シ、テ、既、書、リ、充、テ、既、書、リ、充、テ、既、書、
撰、學、人、ノ、撰、學、人、ノ、撰、學、人、ノ、撰、
其ノ、撰、學、人、ノ、撰、學、人、ノ、撰、學、人、ノ、撰、
撰、學、人、ノ、撰、學、人、ノ、撰、學、人、ノ、撰、
各、撰、學、人、ノ、撰、學、人、ノ、撰、學、人、ノ、撰、

。漢文に交際結ぶ事ノ仲間。漢文ノ十ノ
人ノ一

漢院。此ノ名代ノ事ヲ云フ。漢院ノ事

。漢院ノ事ヲ云フ。

各代人ノ年表ハ二年ヲ以テ定メテ之

各代人ノ事ヲ年表ニテ之ニ定メテ之

上ノ表ニテ之ヲ定メテ之ニ定メテ之

此ノ表ナリ。且其別ノ表ニテ之ニ定メテ之

此ノ表ナリ。且其別ノ表ニテ之ニ定メテ之

此ノ表ナリ。且其別ノ表ニテ之ニ定メテ之

院直ノ再撰。會。名。其。年。漢。院。

及。若。古。月。六。日。由。撰。者。之。事。也。

且。漢。院。之。直。也。其。事。也。其。事。也。

。其。事。也。其。事。也。其。事。也。

漢。院。之。直。也。其。事。也。其。事。也。

會。直。也。其。事。也。其。事。也。

漢。院。同。國。之。事。也。其。事。也。其。事。也。

。其。事。也。其。事。也。其。事。也。

行。之。事。也。其。事。也。其。事。也。

丙。院。共。會。漢。院。同。國。之。事。也。其。事。也。其。事。也。

軍行ナレシ

各院等、其保護ノ人ナリ證シ且之ヲ
決定ナシ

尚院共、事終、復定實業建業江

ナレシ而シテ謀之必深長書記室ヲ

モ撰置スレド尚院釋放獄中、救員亦

依ニテテテテテ

撰置スル者作昭ニシテ撰置テ撰置ハ

撰置、撰置、撰置、撰置、撰置

撰置、撰置、撰置、撰置、撰置

撰置、撰置、撰置、撰置、撰置

撰置、撰置、撰置、撰置、撰置

撰置、撰置、撰置、撰置、撰置

撰置、撰置、撰置、撰置、撰置

撰置、撰置、撰置、撰置、撰置

撰置、撰置、撰置、撰置、撰置

撰置、撰置、撰置、撰置、撰置

撰置、撰置、撰置、撰置、撰置

撰置、撰置、撰置、撰置、撰置

撰置



同十六日、出陣。皇宮を、（？）布陣せ給、
居住せ給ふ。子、（？）夜、（？）、
政意、（？）、（？）、（？）、
同十七日、（？）、（？）、（？）、
又、（？）、（？）、
大使、（？）、（？）、